Chapter ESGによる価値創造 社会

人材

─社員に対する基本的な考え──

- ●経営と社員の信頼関係を大切にし、活性化した企業
- ●「働きがい」と「実績の向上」をチームワークを通じて 実現する
- ●社員の能力を最大限に発揮できる人間力経営
- ●成長意欲と自助努力のベースなしに人間は成長できない。 人材育成の基本を「自己責任」におく。

ダイバーシティ&インクルージョン

ダイバーシティ推進の考え方

当社経営理念に基づき、性別・年齢・国籍などの属性に関わ らず、個人の持つ経験・能力・発想などの多様性を強みとする 組織風土を醸成し、個性豊かな社員がより活躍できる会社を 目指します。多様性が生きる"意識改革・風土醸成"を図るため、 「明日のはたらくを創るフォーラム」を2016年度より継続開催 しています。具体事例を織り交ぜながら、働き方・働きがい・ 将来のキャリアを改めて考え、社員のジブンゴト化を促す機会 としています。



明日のはたらくを創るフォーラム

従業員数 (人)	2017年	2018年	2019年
単体	230	210	243
(ほか、平均臨時従業員)	10%未満	25	30
日本	3,013	3,223	3,373
アジア	14,449	14,287	14,303
米州	2,407	2,492	2,640
オセアニア	_	_	3,735
その他	388	400	1,919
連結合計	20,257	20,402	25,970

女性活躍の推進

当社グループでは、女性活躍を重要要素と位置付けていま す。キャリア開発のため、チェンジマインド、スキルアップを 促進する社内外の研修等の機会を設けています。女性リーダー 育成研修や異業種交流会への参加を推進しています。

働きがいのある職場づくり

活気あふれる風土の醸成

当社グループは「熱意と覚悟を持った者が集う活気あふれる 風土」の実現を目指した活動をグループ各社からの選抜メン バーで構成されたワーキンググループ(WG)体制で行っています。

経営理念浸透WGでは、「経営理念ワークショップ」を各職場 で展開。2018年度からの2年間で計150回、延べ約2,500 名の役員・社員がワークショップに参加し、対話を通じて価値観 や想いを双方向に理解することの重要性を実感するとともに、 経営理念が示すありたい姿の実現について考える契機と しました。

働き方改革・労働生産性向上WGでは、「魅力あるカンパニー」 の実現を目指し、社員の意識と行動を切り替える "Project SWITCH!"活動に取り組みました。「360°さん付け運動」では、 職場で「さん付け」で呼び合うことで個へのリスペクトを促し、 役職や立場に関係なく積極的に発言・提案・チャレンジができる 風土に向けてコミュニケーションの活性化を図りました。その ほか、会議の在り方や所要時間に着目した「会議の質向上」の ためのガイドブックの展開や、ファシリテーション研修の実施 で、身近な業務の効率化や行動変容を促進しています。

また、会社の課題について経営層と社員が率直に語り合う 「タウンミーティング」を全国 11 拠点にわたって開催し、経営層 と計員の双方向での活発な議論ができる場を設けています。





理念ワークショップ

グループの全体像

従業員の一体感醸成の取り組み

グループ従業員の8割以上を海外従業員が占める当社に おいて従業員の一体感を醸成するため、2017年に女子卓球部 を設立しました。試合観戦や応援等を通じ、拠点や部門・年齢・ 性別を超えて参加する新たなコミュニティとなっています。

また、地域住民の方々を対象とした「卓球教室」を開催する など卓球を通じた地域・社会貢献の取り組みも進めています。







多様な人材の登用と経営人材の育成

育成方針

「成長意欲と自助努力のベースなしに人間は成長できない。 したがって、人材育成の基本を『自己責任』におく。」という育成 方針のもと、採用活動、人材育成に取り組んでいます。

採用活動

新卒採用においては国籍を問わずマーケットをリードして いく次世代を担う経営人材候補の採用を進めています。経営・ 事業ニーズにひもづく必用人材要件に基づき、"リーダーシップ 経験"、"グローバル環境におけるチャレンジ"という観点で優れた 能力を持つ人材の確保に努めています。インターンシップ生も 国内外より積極的に受け入れています。2020年度は新型コロナ ウイルス感染症対策の一環で、早い段階でオンライン活動に 切り替え、タレント人材の確保に向けた活動を実施しています。

中途採用も積極的に進め、社外の知見を取り込むことで、 知の多様化を図っています。多様な経験、知識を有す人材が 集う魅力ある会社づくりをこれからも進めていきます。

経営人材の育成

グローバルトップに向けて加速していくため、経営人材の 育成とその後継者のパイプラインマネジメントを目的に、人材 育成を実施しています。"グローバル"および"リーダーシップ" をキーワードにリーダーシップ教育を強化しています。

また、グローバル人材育成においては、語学留学制度(英語、 中国語)、国内·海外におけるMBA(経営学修士号)派遣制度、 Phd(博士号)派遣制度を新たに導入し、グローバル人材に 必要となる基礎能力開発を強化し世界に対峙できる人材育成 を加速しています。

オンラインの積極的活用

2020年度は新型コロナウイルス感染防止対策の一環と して、採用活動をはじめ社内集合研修(新入社員、階層別等)に おいても積極的にオンライン型に切り替えています。受講者の 発言機会は対面式と比べても遜色なく、また講師との距離も 近く、集中力の向上が見られます。さらに、移動等による受講者 の負担や現場業務への影響を最小限に抑えることができ、効果 的に取り入れられています。

79 NIPPON PAINT HOLDINGS Integrated Report 2020 NIPPON PAINT HOLDINGS Integrated Report 2020 80

社 会

労働安全衛生

国内における安全衛生活動

当社グループでは「安全はすべてに優先する」という考え方 のもと災害発生の未然防止に取り組んでいます。

2019年度は、グループRC委員会やグループ安全環境会議および製品安全会議を通じて安全衛生活動の改善や問題解決に取り組みました。

また、各地区、各サイトにおいては、安全衛生委員会を実施し、各地区の安全環境問題を明確にし、全従業員が問題の改善に当たっています。さらに労働組合との協働によるイベントにより、従業員の健康増進を推進しています。

2019年度のグループの災害件数は前年度と比較し減少したものの、重大災害(左手第1指一部欠損)が1件発生しました。グループ内で発生した重大災害は国内地区、サイトのみならず海外グループにも展開し、現場のルールや安全対策を見直し管理強化を図りました。

2019年度のグループ全体での安全研修の実施状況は以下の通りです。

- ●新入社員安全研修:73人受講
- ●新入社員フォローアップ研修(危険体感講習、危険予知訓練、静電気安全 講習):69人受講

海外グループ会社への安全統制支援

当社グループは海外関係会社における安全環境活動に対して、積極的な支援を継続的に実施しています。2019年も NIPSEA Safety Council (以下NSC)を通じてアジア地域、各地区における現場管理強化と活動リーダーの育成に取り 組みました。

火災、爆発など操業停止に関わる重大リスクとその是正を 主たる目的とした評価リストを用いて、NSCメンバーとともに 安全評価を各地区で実施し、重大災害の未然防止に努めました。

安全評価に加え、火災、爆発事故が発生した際の体制確認のため、各地区の消防訓練をモニタリングしています。

2020年度からはリニューアルした評価リストを用いて、重大 災害の未然防止に努めていきます。

※1 度数率は100万延べ実労働時間当たりの労働災害による死傷者数

※2 集計範囲: 2015年度 NPAU、NPIU、NPTU、NPSU、NPHD 2016年度~2019年度 NPAU、NPIU、NPTU、NPSU、NPHD、

NPMC, ASP, ASR, NAC

※3 集計範囲: 2016年度 NIPSEA

2017年度 NIPSEA、NPAU海外拠点(アジア、米国、欧州、南米) 2018年度 NIPSEA、NPAU海外拠点(アジア、米国、欧州、南米)、 NPMの(アジア)

2019年度 NIPSEA、NPAU海外拠点(アジア、米国、欧州、南米)、 NPMC(アジア)、Dunn-Edwards

国内休業災害度数率※1



NPHD ● 製造業平均 ● 化学工業平均 ● 日本化学工業協会平均

国内労働災害発生件数※2



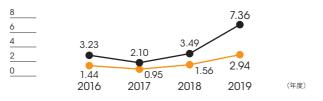
■ 重大な災害 ■ 休業災害 ■ 不休業災害 ● 労働災害度数率**1

雇用形態別災害発生件数



■ 正社員 ■ その他(契約、派遣、嘱託)

海外労働災害度数率※1



休業災害度数率● 災害度数率(休業·不休業)

海外労働災害発生件数※3



グループ品質保証

グループ品質保証体制

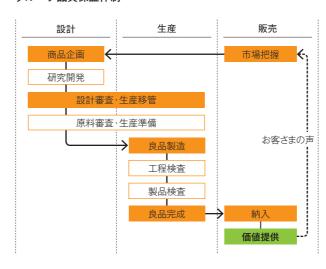
基本的な考え方

当社グループでは、「グループの商品の顧客満足度向上を目的とし、定常的かつ継続的に商品の品質の維持向上を図る」という社内規定の方針に基づき、グループ各社の品質保証活動の推進に努めています。

製品の設計段階における製品の安全性や環境保全に留意 し、製品の機能性を確保する取り組みを実施しています。また、 設計審査および生産段階への移管審査をはじめ、原材料、製造 工程における工程検査、製品の最終検査など、各工程で厳格な 品質検査を実施しています。

また、製造工程における品質のばらつきを抑える工程管理 およびお客さまへ当社グループの製品を安全に納期遵守して 届ける物流管理を含めて、グループの品質保証体制の維持 向上に努めています。

グループ品質保証体制



法令対応

商品に関する法令対応については、設計段階から品質保証体制の中で厳格に運用している設計審査において、各種法令への適合を確認することで法令遵守を実現しています。また、商品に関わる法令情報については、安全データシート(SDS)によってお客さまに適切に提供しています。

グローバル・クオリティ・カンファレンス(GQC)の開催

当社は、海外グループ会社においても安全と同様に品質保証体制および品質管理の向上に現地と協働し推進に努めています。実生産現場における品質保証、生産性の向上を目指したチームの活動報告の場として「グローバル・クオリティ・カンファレンス(GQC)」を2019年9月に開催しました。大阪本社に海外グループ会社も含めた関係者約70人が集まり、テレビ会議システムを使った配信も行いながら品質向上活動の横展開を推進しました。各国のものづくりに挑む姿勢、現場での新しい発見や効率的な管理手法の共有に努めています。

なお、2020年度の開催については新型コロナウイルス感染症の影響も踏まえてリモート開催を検討していますが、いずれの場合でもグループ各社の品質管理の向上に寄与する、GQCの運営を目指します。





2019年度「グローバル・クオリティ・カンファレンス(GQC)」

品質保証活動の推進

当社グループは、現場の品質保証および安全環境に寄与する 製造現場の改善活動の推進に努めています。

その活動を「現場QA(品質保証)」活動と位置付け、「5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)」、「目で見る管理」、「標準化」、「ポカよけ」、「品質KY(危険予知)」の5項目を中心に現場の強化を展開しています。また、製造現場の各リーダーが、それぞれの部門で管理している職場をお互いに確認し合い、製造現場の課題の深掘りや抜本的な対策を討議する場を設けるなど、製造現場全体の品質保証・安全対策のレベル向上を推進しています。

上記の品質保証活動の推進を通じ、継続的な商品品質の 維持向上に努めていきます。

8] NIPPON PAINT HOLDINGS Integrated Report 2020 82

サプライチェーンマネジメント

――グループ調達方針――

調達部門は、日本ペイントホールディングスグループの 経営理念に則して、大切なパートナーであるお取引先様との 調達活動において、以下の方針を遵守・推進いたします。

1. 法令遵守·人権尊重

日本ペイントホールディングスグループは、法令や国際ルールを 遵守すると共に、人権を尊重します。お取引先様に対しても同様に 行動されることを期待します。

日本ペイントホールディングスグループは、自由な競争に基づく 公平かつ公正な調達を行います。個人の利害関係がお取引先様 選定の判断に入らないように努めます。

3. お取引先様の選考

日本ペイントホールディングスグループは、品質・価格競争力・ 安定供給力・技術力のみならず、経営方針、ESG活動、環境保全・ 資源保護の推進、安全・健康・その他要因に対するリスク管理など への誠実な取り組みを考慮して、合理的にお取引先様の選考を 行います.

4. お取引先様との信頼関係構築

日本ペイントホールディングスグループは、お取引先様との対話を 重視し、信頼関係構築に努め、共に持続可能な調達を推進します。 また、調達活動におけるリスク低減をお取引先様と協働で進め ます。

原材料調達における考え方

当社グループの事業は、原材料・設備・資材・情報サービス など多岐にわたる製品およびサービスの供給により成立して います。事業の持続的成長には、お取引先さまとの健全な協力 関係が不可欠です。お取引に関する当社の基本的な考え方を 調達方針として開示しており、当社グループ社員、お取引先さま の全てがこの方針を理解し、実践することを目指しています。 調達方針をブレークダウンした調達ガイドラインを策定し、より 具体的な内容で、お取引先さまと当社が遵守する事項を明確に し、責任ある調達を推進します。

当社の調達活動は、QCDはもとよりESG側面も最重要課題 と位置付け、サプライチェーンの持続性をより意識したもの へと変容していきます。

調達方針に沿った取り組み

責任ある原材料調達

当社の製品に使用される全原材料の化学物質について、 法規制の改定や新規原材料採用に伴いSDSや商品仕様書の 内容を製品安全部門と連携し、審査・更新しました。

これらの化学物質情報を基礎に当社製品の国内外規制対応 のための情報をお客さまに提供しています。

また、日本化学工業協会が推進する「サプライチェーンに おける化学物質のリスク評価関連情報を共有する仕組みの 整備 に当社は協賛しており、お客さまの要請に基づいて情報 を提供しています。

CSR調達調査

90%を占めるサプライヤー に依頼した、UNGCジャパン 80 作成の自己診断表への回答 結果を右記グラフに示します。 70点未満のお取引先さまと は回答内容について協議し レベルアップを依頼しています。 ■ 会社数 ● 構成比



紛争鉱物調査

当社使用原材料組成で3TG(スズ、タンタル、タングステン、 金)とコバルトを含有するものを抽出し、紛争鉱物調査テンプ レート(CMRT)を用いて調査を実施しました。本結果をもとに、 お客さまからの調査要請に対応しました。

BCPへの取り組み

原材料供給ソースの複数化など供給遮断リスクの低減を 図っています。一斉問合せシステムによる重大なリスクの把握も 実施しており、2019年はプラントトラブルの影響調査、台風や 地震など、5回実施しました。

品質·安全監査

原材料メーカーや製造委託先31社(34事業所)の現場を 訪問し、品質管理および安全衛生について確認するとともに 改善必要箇所について協議しました。

コミュニティ投資

地域社会・国際社会での貢献活動

基本的な考え方

当社グループの拡大により、社員や職場環境のグローバル化 が進んでいます。事業を展開する国々において、その地域の 社会課題の解決につながるように、貢献活動を継続しています。

【国内】医療機関医療用マスク、消毒エタノールを 全国76の医療機関と市区町村へ無償配布

国内の新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、日本 国内の医療機関においてマスク・消毒液等の確保が困難で ある状況を鑑み、中国の提携工場で生産した医療用マスク (サージカルマスク相当、N95タイプマスク)計14万枚ならびに 物品消毒用アルコール 1,700 リットルを、国内医療機関および 公共機関など76ヵ所に寄贈しました。





刈谷豊田総合病院(左)、大阪市北区(右)マスク、消毒エタノールを寄贈

【インド】教育支援と女性活躍への取り組み

インドでは農村地域の女性 に塗装技術者として生計を 立てられるようになることを 目的としてトレーニングプロ グラムを実施しています。 この活動によりタミル・ナー ドゥ州の田舎全体で420人の 女性塗装技術者が誕生してい ます。2019年度は新型コロナ ウイルス感染症の感染拡大に 際し、彼女たちとその家族へ 食料品の支援も行いました。 女性塗装技師



【オーストラリア】医療分野、環境保全への支援

医療分野においてはがん研究、救急サービス機関へ、環境 保全においては、動物救助をはじめとした250以上のコミュニ ティへ、支援を実施しています。2019年は約50万豪ドルの 製品と資金を寄付しました。

【トルコ】学校教育と塗装技術者へのサポート

トルコでは教育支援として、学校の塗り替え活動とカラー エフェクトプロジェクトを実施しています。塗り替え活動は子ども たちが希望を失わないよう、学校を衛生的に保つことを目的と しており、約600トンの塗料が使用されました。カラーエフェクト プロジェクトは、子どもたちに与える影響を分析した上で適切な 配色を提供するものです。専門心理学者との共同研究により 「色が子どもに与える影響」と「学校での色の利用」を分析し、 トルコ初の「子ども部屋と学校のためのカラーコレクション」を 作成し、1万人以上を対象に配布しました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響で仕事不足に陥った

地域の塗装技術者25,000人 へ「良い時も悪い時も、いつ もあなたと一緒です」という メッセージを込めて、食料パッ ケージ(6,400万円相当)を 送りました。



学校教育現場を支援しています

【メキシコ】新型コロナウイルス感染症対策支援

メキシコでは新型コロナウイルス感染症に際し、周辺の貧困 地域へ食料品を配布し、医療機関にはマスクおよび白衣、消毒

液の寄付を行いました。また 中国でマスクが不足していた ときには、メキシコからマスク を送付しました。

このように日本ペイント ホールディングスではネット ワークを駆使した相互協力 関係を実施しています。



周辺地域での食料品配布の様子

83 NIPPON PAINT HOLDINGS Integrated Report 2020 NIPPON PAINT HOLDINGS Integrated Report 2020 84